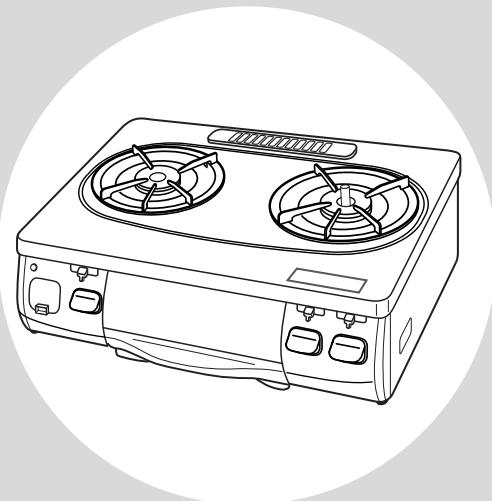
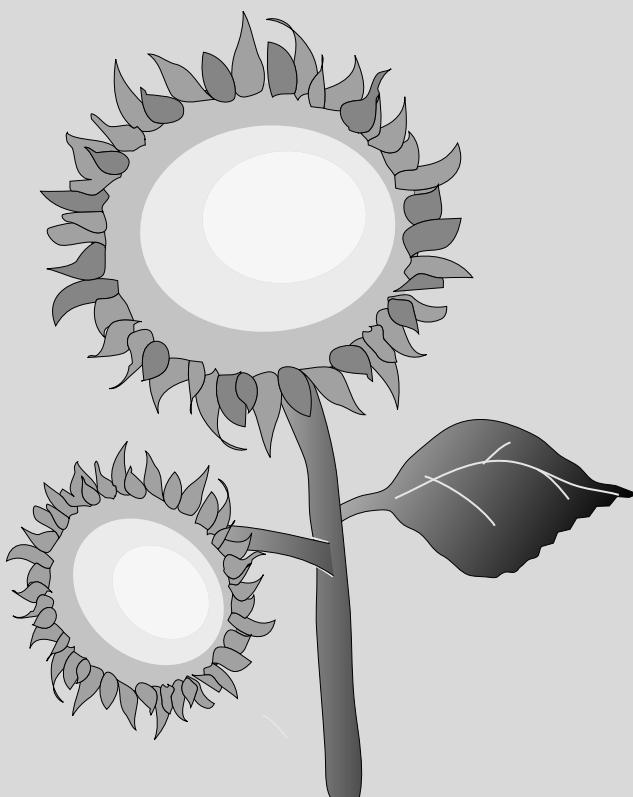


パロマガステーブル



取扱説明書

このたびはガステーブルをお求めいただきまして、
ありがとうございます。



品名 : IC-E700CF-L
PA-70CFDE
IC-CF800KDH-L
IC-E701CB-L
PKS-E593C-L

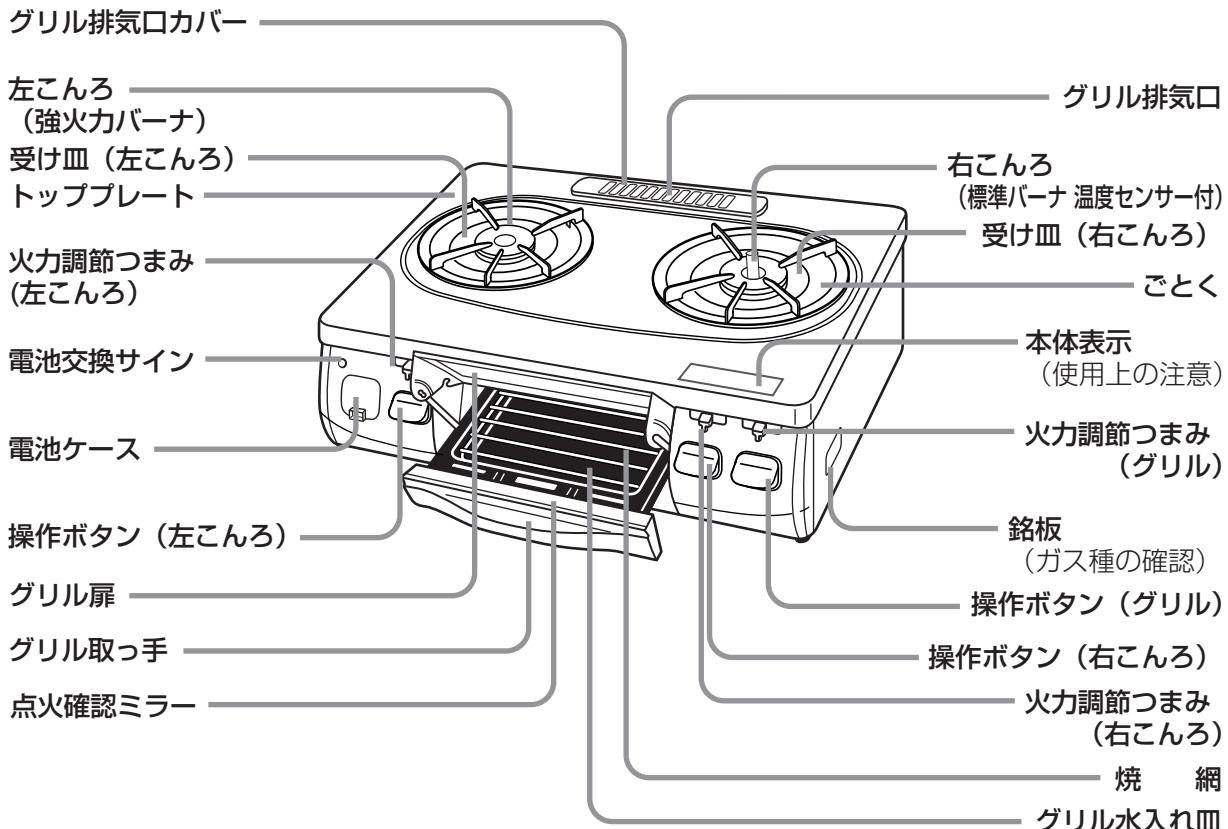
- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
- この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。
- 「取扱説明書」を紛失された場合はお近くの当社までお問い合わせください。

もくじ

各部のなまえ	1
必ずお守りください	2
設置について	9
こんろの使いかた	12
グリルの使いかた	14
安全装置／電池交換	15
点検とお手入れ	16
故障かな？と思ったら	18
保管とアフターサービス	裏
仕様	裏

Paloma

各部のなまえ



PA-70CFDEにはロックつまみが付いています。小さなお子様のいたずら防止にご利用ください。



*ロックされたまま操作ボタンを無理に押したり、
使用中にロックつまみを動かすと故障の原因に
なります。

特長1



天ぷら油過熱防止機能 (標準バーナ)

標準バーナには天ぷら油の過熱を防止するために温度センサーが付いています。温度センサーが消火温度になると自動的にガスを止めます。

特長2

快転トビラのぐるりんば

グリル水入れ皿を引き出すと、グリル扉はくるりと上方へ回転しながら開きます。熱いグリル扉がじゃまにならずにお魚を裏返せます。

特長3

フッ素コート/ホーロートッププレート

煮こぼれもサッとひと拭きでお手入れできます。

特長4

ガス代節約型エコノバーナ

従来のコンロに比べ、熱効率が高いのでガス代を節約できます。

必ずお守りください

【安全に正しくお使いいただくために】

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

△ 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
△ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
△ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的
な禁止



火気禁止



接触禁止



分解禁止



発火注意



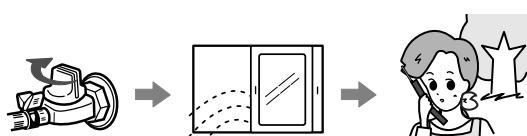
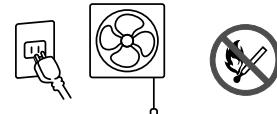
必ず行う

△ 危険

ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないでください。炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

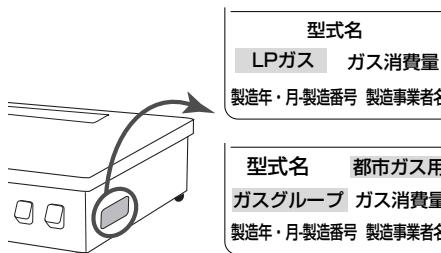
- ①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
(つまみのないガス栓の場合はガス栓から接続具をはずす)
- ②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
- ③お近くのガス事業者まで連絡する。



△ 警告

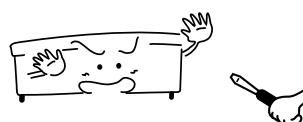
機器の銘板に表示してあるガス種 (ガスグループ) の適合を確認する

表示のガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガス種が一致しているか確認してください。
*おわかりにならない場合または合っていない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者までご連絡ください。



分解禁止

修理・改造は高度な専門知識が必要です。工具を使用して分解したり修理・改造を行うことはお客様ご自身では絶対にしないでください。発火したり、異常作動してけがの原因となります。



必ずお守りください

⚠ 警告

火をつけたままの移動、外出、就寝禁止

料理中のものが焦げたり燃えたりして火災の原因になります。

- とくに天ぷら、揚げものをしているときは注意してください。
- グリルを消し忘れると調理中のものに火がつく場合がありますので注意してください。



機器の上や周囲には可燃物や引火物を置かない、近づけない

ペットボトル、調理油などは火災の原因になります。また、スプレー缶やカセットコンロ用ボンベなどは、熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

- 機器の下に新聞紙やビニールシートなどの可燃物を敷かないでください。また、電源コードを通さないでください。

グリル使用中、排気口の上にタオル、ふきんなどをのせない

不完全燃焼や火災の原因になります。



機器の周囲では引火のおそれのあるものを使用しない

スプレー、ガソリン、ベンジンなどは、引火して火災のおそれがあります。



異常時の処置

①点火しない場合は、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用途中で消火した場合、地震、火災など緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓から接続具をはずす)

- ②「故障かな?と思ったら」に従い処置する。

③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かお近くの当社まで連絡する。



ガス接続

ガス用ゴム管（ソフトコード）を使用する場合は、検査合格マークまたはJISマークの入っているものを使用し、赤線まで差し込んでゴム管止めでしっかりと止める

ガスコードを使用の場合は、スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って、正しく接続する

- ①継ぎ足しや二又分岐は絶対にしない
- ②機器の上や下を通さない
- ③他の熱源などの高温部に触れない
- ④折れ、ねじれ、引っ張りなどのないようにする
- ⑤接続口に汚れやごみがないようにする

- 正しく接続されないとガス漏れの原因になります。
- ガス用ゴム管、ガスコード以外は耐久性に欠けガス漏れの原因になります。



ゴム管はときどき点検して取り替える

古くなるとひび割れや差し込み口がゆるくなつてガス漏れの原因になります。

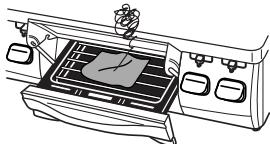


！警告

グリル庫内に食品屑やふきんがないようにする。またグリル扉にはさんだまま使用しない

使用中に燃えることがあります。使用前に庫内を点検してください。

*取り除く際はケガをしないように注意してください。



グリル水入れ皿に水以外のものは入れない

機器の損傷やたまたま脂が加熱され燃えて火災の原因になります。また、グリル水入れ皿が異常に加熱されて膨張し、出し入れする際にグリル庫内に擦れて重く感じたり、ホーローを傷めることができます。フッ素コートトッププレートの場合、変色の原因にもなります。



脂の出る料理には、焼網の上や下にアルミはくを敷かない

アルミはくの上に脂がたまり、発火する原因になります。



使用中、使用直後の持ち運び禁止

火がついたまま持ち運ばないでください。火災、やけどの原因となります。

また、こんろ上の調理物などが倒れてやけどをするおそれがあります。



グリルを使用する時は、グリル水入れ皿に必ず所定の水量の水を入れ、使用中は常に水のある状態を保つ。グリル使用後は必ずお手入れする

グリル水入れ皿にたまたま脂や、調理物が燃えて火災のおそれがあります。



消火の確認

使用後の消火を必ず確かめてください。



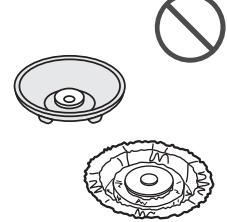
当社の純正部品を使用する

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。それ以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。



市販の補助具について

省エネ性をうたった補助具や、市販のアルミはく製しの受け皿を使用しないでください。一酸化炭素中毒や、異常燃焼のおそれがあります。また、トッププレートの変色の原因になります。



こんろを覆うような大きな鉄板類やなべ、焼網は使わない

不完全燃焼や機器の異常過熱、ごとくの変形、トッププレートの損傷の原因になります。



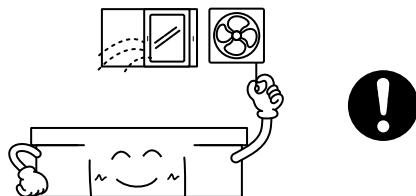
必ずお守りください

⚠ 注意

ガス事故防止

閉めきった部屋で長時間使用しないで、使用中は窓を開けるか換気扇を回してください。一酸化炭素中毒の原因になります。また、ストーブなど他の燃焼機器を長時間使用している部屋でお使いの場合は、点火しにくかったり、正常に燃焼しない場合があります。

*自然排気式給湯器および風呂釜を同時に使用する場合は、換気扇を回さず窓などを開けて換気してください。換気扇を回すと自然排気式給湯器および風呂釜の排気ガスが屋内に流れ込むおそれがあります。



熱くなったグリル扉に水をかけない
ガラスが割れてケガをする原因になります。



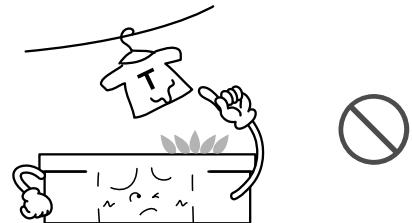
グリル使用中はグリル扉を開けたままにしない

あふれた熱気により、トッププレートやつまみ・ボタンが過熱されやけどや変色・変形の原因になります。



調理以外の用途には使わない

過熱・異常燃焼による機器焼損や火災の原因になります。



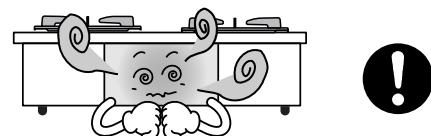
ごとくをはずして使用しない

なべなどを直接こんろにおいて使用しないでください。不完全燃焼や機器焼損のおそれがあります。



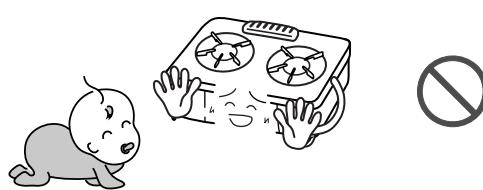
グリル使用時は魚を焼きすぎない

魚に火がつき火災の原因になります。



幼児や小さな子供に触らせない

思わぬ事故の原因になります。



⚠ 注意

使用中や使用直後は操作部以外は触らない

機器本体とその周辺および調理道具が熱くなるため、やけどをするおそれがあります。

*特に小さなお子さまがいる家庭では注意してください。



排気口に注意

グリル使用中はグリル排気口に手や顔を近付けたりなべの取っ手等を向けたりしないでください。高温の排気熱が出ているため、やけどや取っ手が破損をするおそれがあります。



この機器の点火装置以外の方法では点火しない

やけどをするおそれがあります。



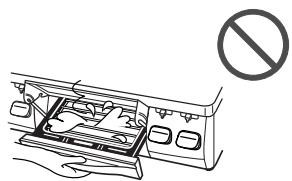
グリル水入れ皿を持ち運びする際は、中の水がこぼれないように注意する

使用中、使用直後は水が高温になっているためやけどをするおそれがあります。



グリル水入れ皿を勢いよく引き出さない

使用中、使用直後は水が高温になっているためやけどをするおそれがあります。



点火操作時や使用中はバーナ付近に顔を近付けない

熱や炎でやけどをするおそれがあります。



使用中はバーナ付近に触れない

衣服に炎が移ったりする場合があります。



やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する

火力が強すぎると、やけどのおそれやなべなどの取っ手が破損する原因になります。



ごとくに安定してのるなべを使用する

底がすべりやすいなべ、径の小さいなべなど不安定ななべは使用しないでください。傾いてやけどのおそれがあります。



グリル使用中、使用直後にグリル扉を開けた状態でこんろ操作をしない

熱くなったグリル扉に手が触れてやけどをするおそれがあります。



グリル使用中、使用直後にグリル取っ手上面部(特に金属部)に触れない

高温のためやけどをするおそれがあります。



必ずお守りください

△注意

バーナキャップを水洗いしたときは水気を十分ふき取る

水滴がバーナに落ちて目づまりし、点火不良になることがあります。



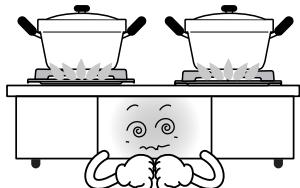
水平で安定したところに設置する

機器が傾いていると、調理中の鍋などが滑り落ちて、やけどやけがをするおそれがあります。また事故や故障の原因になります。



おねがい

この製品は家庭用ですで業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。



使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。



初めて使うときやしばらく使わなかつたときなど点火しにくい場合があります。ゴム管内に空気が入っているためです。繰り返し点火操作してください。



グリル庫内や本体内部をお手入れする際は各部品の突起物等に注意する

力強く当たった場合、手をけがすることがあります。



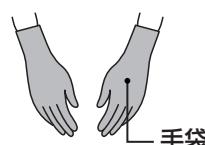
点火操作をしても点火しない場合は操作ボタンを戻して、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする

すぐに点火操作をすると周囲のガスに点火して、衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。



点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う

手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。



みそ汁を温めなおすときは火力を弱めにして、よくかき混ぜながら温めてください。強火で急に温め直すとなべ底に沈んだみそが突然噴き上がり、みそ汁が飛び散ったり、なべがはね上がってひっくり返ることがあります。



<乾電池使用機器の場合>

廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。火災の原因になります。

トッププレートの手前を強い力で押さえないでください。トッププレートが浮き上がることがあります。

温度センサー付バーナについて



⚠️ 警告

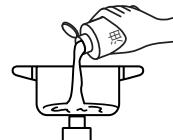
耐熱ガラス容器、土なべなど、熱が伝わりにくいもので揚げもの調理はしない

天ぷら油過熱防止機能が働かず、発火することがあります。



揚げもの調理には200ml以上の油を入れる

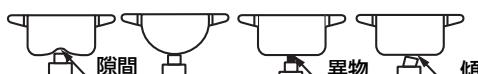
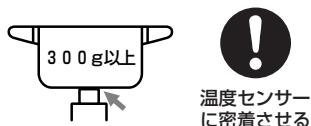
調理油の量が200ml以下の場合、温度センサーが働かず発火することがあります。



温度センサーの上面となべ底の中心が密着していないときは、使用しない

そのまま使用すると温度センサーが働かず調理油が発火することがあります。

なべ底と温度センサーの間には隙間や異物がないようにしてください。また、安定性の悪いなべは使用しないでください。なべの重さは調理物を含め300g以上が必要です。



⚠️ 注意

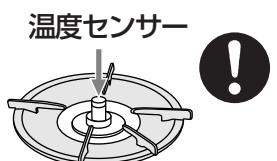
温度センサーに強いショックやキズを与えない

温度センサーが故障する原因となります。



揚げもの調理をする場合は必ず温度センサー付バーナを使用する

火災予防のためにお守りください。天ぷら油は油の温度が非常に高くなると、直接火が入らなくても発火します。



温度センサーがスムーズに上下に動くか確認する

また温度センサーとなべ底の密着する部分はいつも清潔にしておく

汚れが付着したり、動きが悪いと温度センサーがなべ底の温度を正しく感知できず、発火の原因になります。お手入れしても温度センサーの動きが悪いときはお買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。



設置場所と周囲の防火措置

一酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。

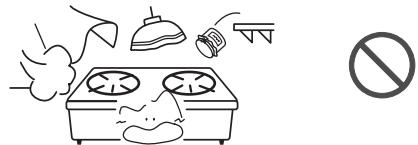
*防火措置は各地の火災予防条例に従って行ってください。

⚠ 警告

下記の条件を満たしている場所をお選びください。

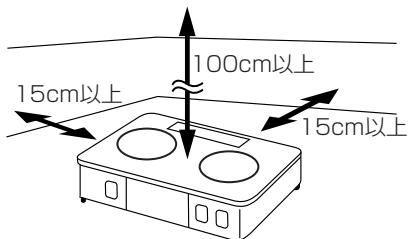
*設置後に、機器の周囲の改装（吊り戸棚をつけるなど）を行う場合も設置基準をお守りください。

- 風が吹き込まない
- 水や熱がかからない
- 換気が良い
- 上に照明器具などの樹脂製品がない
- 水平で安定している
- 落下物の危険がない
- 上に湯沸器がない
- 周囲に可燃物がない



周囲に可燃物（木製などの可燃性の壁、ステンレス板や薄いタイルなどの不燃材を可燃性の壁に直接貼り付けた壁、たななど）**のある場合**

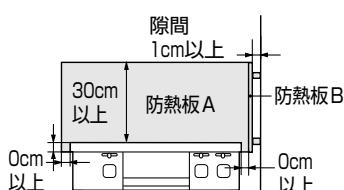
- トッププレートより上の側面および後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100cm以上離す
- 上記の離隔距離がとれない場合は、防熱板を取り付ける



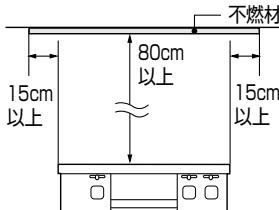
■防熱板について

別売の防熱板A、B、Cまたは金属以外の厚さ3mm以上の不燃材を図のように取り付けてください。
(防熱板A、Bは壁との隙間が20mm必要で、取り付け方法は壁にネジ止めとなります。)

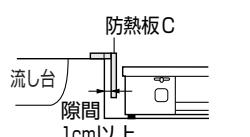
●側面・背面



●上方



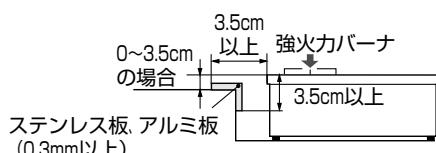
●流し台などの側面



トッププレート面が低いとき

■強火力バーナ側の防火措置

可燃性の調理台・流し台などが、トッププレートと同じ高さまたは低い場合でも強火力バーナ側を密着設置する場合は図のように保護してください。



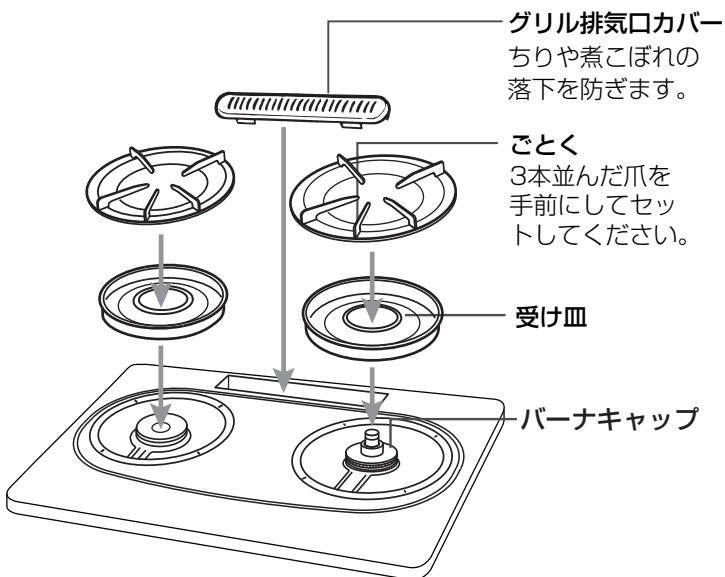
設置について

部品のセット

- 箱から機器を取り出し、あて紙や梱包部材やテープを取り除く。
- ご家庭のガスの種類と機器の銘板に表示されているガスの種類が合っているか確かめる。合っていない場合は設置をやめて、お買い上げの販売店かお近くのガス事業者まで連絡する。

△警告

標準バーナ側を壁側に設置する
* 壁側の火災を防止するためです。



バーナキャップのセット

バーナキャップ上面の△印をテマエにして突起を切り欠きにはめる



△注意

浮き・傾きのないようにセットする
→不完全燃焼や火災の原因になります。



受け皿のセット

あなたの大きいほうを強火力バーナ側に、小さいほうを標準バーナ側にセットする。

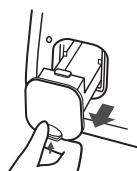
△注意

左右を間違えないように正しくセットする
* 特に強火力バーナ側にあなたの小さいほうの受け皿をセットしないでください。
→不完全燃焼や火災、故障の原因になります。

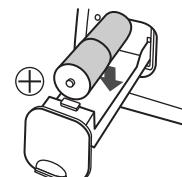


乾電池のセット (乾電池 単1形 1.5V 2個)

①電池ケースのツメを上げながら手前に引く



②乾電池の+側を手前にして入れる



③電池ケースを奥までしっかりと入れる



おねがい

- 乾電池は新しいものと古いもの、または違う種類のものを混ぜて使わないでください。寿命が短くなりますし、乾電池が液漏れすることがあります。
- 乾電池の寿命は通常の使いかたで約1年です。ただし、付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。
- 乾電池ケースに水などの異物が入った場合は、電池接触不良の原因となるため、ふきとぎきれいにしてください。

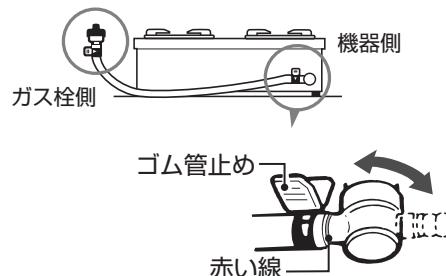
設置について

ゴム管接続の場合

用意するもの：Φ9.5mmガス用ゴム管（新品）1本
(都市ガス用とLPガス用があります。
お使いのガスに合わせてお選びください。)

ゴム管止め2個

- ①ゴム管を機器に触れないように適切な長さに切る
- ②両方のゴム管口の赤い線までゴム管を差し込みゴム管止めで止める
- ③ガス栓を開け接続部からガスの臭いがしないことを確かめ、ガス栓を閉める

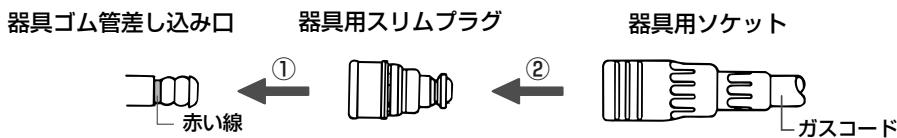


ガスコード接続の場合

*ガスコードを接続する場合は、ガス栓側がコンセントになっていないと接続できません。
従来のガス栓で使用する場合は、ガス栓用プラグが必要です。

ガス機器側の接続

- ①下図のように、まず器具用スリムプラグを機器のゴム管差し込み口に取り付ける
- ②次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに“カチッ”と音がするまで差し込む
(器具用スリムプラグに同梱してある取扱説明書に従ってください。)



ガス栓側の接続

(ガス栓がガステーブル用であることを確認してください。)

①ガス栓を開けるとき

コンセント継手を“カチッ”と音がするまで確実に差し込む



②ガス栓を閉めるとき

コンセント継手のすべりリング（白色）を手前に引く



●コンセント継手を差し込むとガスが開きます。

●コンセント継手がはずれるとガス栓が閉まります。

ガスコンセントについて

「ガスコンセント」は、ガスコード等を取り付けると自動的に開栓し、取りはずすと自動的に閉栓します。

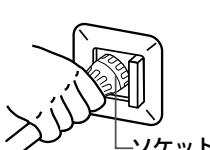
●フタを開ける

フタの右端を押す



●取り付ける

‘カチッ’と音がするまで差し込む



●取りはずす

右端にあるフタを押す



こんろの使いかた

1 準備

- ①操作ボタンが押されていないことを確かめる
- ②ガス栓を全開にする

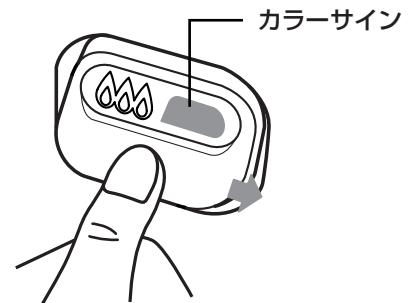
2 点火

- ①操作ボタンをゆっくりいっぽいまで押し、そのまま数秒間押し続ける

- ボタンはいっぽいまで押さないと点火しません。
- パチパチと音がして点火します。（こんろとグリル同時に放電）
- 火力調節つまみが弱火側にある時に点火操作すると、つまみは強の方向へ自動的に移動します。

- ②手を離しても点火していることを確認する

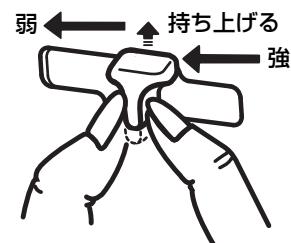
- カラーサインは操作ボタンの状態を示します。操作ボタンが押してあるときは「赤」に、押していないときは「白」に変わります。



3 火力調節

炎を見ながらつまみをゆっくり動かす

- 強火から弱火にする時、つまみは中ほどでいったん止まります。さらに弱火にするとときは少し持ち上げて左に動かしてください。
- 勢いよくつまみを「強」から「弱」に動かすと、消火ことがあります。
- 使用中もときどき燃焼を確かめてください。



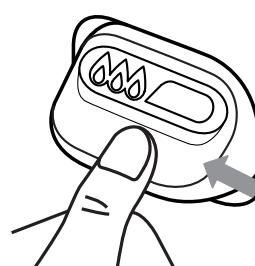
4 消火

- ①操作ボタンを押す

- 消火を確かめてください。

- ②ガス栓を閉める

- * 燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。



おねがい

- なべに付いた水滴はふき取ってからごとくにのせてください。余分な熱が必要になるうえ、水滴がバーナに落ちて目づまりし、点火不良になることもあります。
- なべをごとくにのせてから点火したほうがより点火が確実になります。

こんろの使いかた

温度センサーを正しく作動させるためにお守りください

特に揚げものの調理時にお守りいただけなければ、天ぷら油の過熱による発火を防止できないことがあります。



調理に適したなべを選ぶ（下表）

なべなどの種類	油調理		その他の調理 (煮物など)	備 考
	揚げもの	炒めもの		
ステンレスなべ (多層を含む) ホーローなべ	○	○	○	温度センサーに適しています。
アルミ・鉄・ステンレス(多層を含む) フライパン 平底中華なべ	○	△	○	炒めものの調理時フライパンを返す動作を何度も行い、温度センサーとなべ底が密着していない時間が長くなると、途中消火することがあります。
天ぷらなべ	○	/	/	揚げものの調理以外の調理には適していません。
耐熱ガラスなべ 土なべ 圧力なべ	✗	○	○	揚げものの調理には適していません。発火することがありますので、使用しないでください。
打ち出しなべ 丸底中華なべ	✗	✗	✗	なべ底と温度センサーの密着が不安定なため、正しく使用できません。
焼網	/	/	✗	消火したり、トッププレートの変色等の原因になります。

おねがい

●温度センサー付バーナは温度センサーが高い温度になったときや、冷たくなりすぎた場合に途中で消火することがあります。また、なべを持ち上げるなど、なべが温度センサーから離れる調理も途中で消火することがあります。このようなときは、強火力バーナをお使いください。

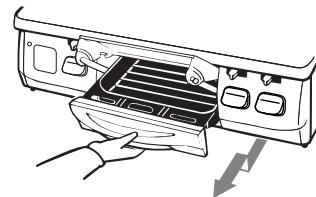
<途中消火してしまう調理の例>

炒りものの調理・ワインナー炒め・容器ごと凍らせた食品の解凍加熱

グリルの使いかた

グリル水入れ皿の取り出しかた

- 中の水がこぼれないようにゆっくりと引き出す
- 取りはずすときは、止まるところまで引き、少し持ち上げて引く
 - *最初から持ち上げた状態で引き出さないでください。
 - 止まらずに勢いよく出てきてしまいます。
 - *持ち運びするときは、取っ手部をしっかりと持ってください。



焼きかたのポイント

- 焼網に食用油を塗っておくと、魚がくっつきにくくなります。
- 魚のヒレなどこげやすい部分は厚めに塩をふるかアルミ箔で包んでおくとこげかたが少なくなります。

はじめて使うとき

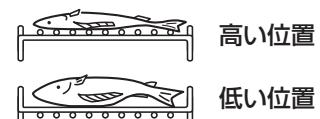
- ①グリル水入れ皿にコップ1杯（約200ml）の水を入れる
- ②約15分、空焼きする … 庫内の油を焼ききるため煙や臭いが出ても異常ではありません。

1 準備

- ①操作ボタンが押されていないことを確かめてからガス栓を全開にする

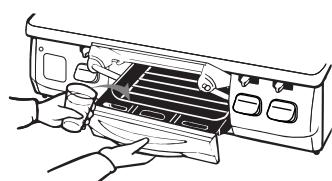
②焼網をセットする

- 焼網は表裏で高さが変わります。焼物の種類、大きさにより使い分けてください。



- ③グリル水入れ皿にコップ1杯（約200ml）の水を入れる

- 続けて使用するときはそのつど水を足し、脂が飛び散るようなときは水を入れ替えてください。



- ④グリル水入れ皿を奥までしっかりと入れる

2 点火

- ①操作ボタンをゆっくりいっぽいまで押し、そのまま数秒間押し続ける

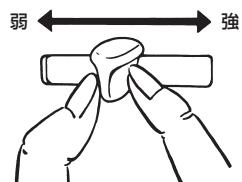
- ②バーナ全体に点火したことを確認する
(点火確認ミラーを利用すると便利です。)

- ③3分ほど予熱をしてから材料をのせる

3 火力調節

材料に合わせて火力を調節する

- 裏返した面は前よりも早い時間で焼き上がります。



4 消火

- 操作ボタンを押して消火した後、ガス栓を閉め、グリル水入れ皿のお手入れをする

安全装置について

■次のバーナには安全装置が付いています。

安全装置	バーナの種類	機能説明	処置方法（消火に気付いたときは…）
立消え 安全装置	強火力バーナ 標準バーナ グリル	風や煮こぼれなどで炎が消えたときに自動的にガスを止めます。	すぐに操作ボタンを押して消火状態にしてください。炎が消えてからガスが止まるまでしばらく時間がかかります。再点火するときは周囲にガスがなくなるのをまってください。
天ぷら油 過熱防止機能	標準バーナ	天ぷら油が過熱による発火をする前に自動的にガスを止めます。	操作ボタンを消火状態にし、油の温度が適温になるまでそのままお待ちください。 ＊なべや調理によっては途中で消火する場合があります。このようなとき、揚げもの以外の調理の場合は、強火力バーナをお使いください。

電池交換について

温度センサー付バーナ使用時に、電池交換サインが点灯したときは電池が消耗していますので、新しい乾電池（単1形1.5V 2個）と交換してください。（「設置について 乾電池のセット」参照）
そのままにしておくとパチパチと放電していても温度センサー付バーナは使えなくなります。

- 電池が消耗してくると温度センサーが作動しなくなるので、操作ボタンを押したとき点火していても、安全のため、手を離すと消火するようになります。操作ボタンを押し続ければ点火していますが故障の原因となりますのでおやめください。
- そのまま電池が消耗すると強火力バーナやグリルも点火しなくなります。
- 強火力バーナ、グリル使用時または電池がすっかり消耗したときは、電池交換サインの点灯はしません。

点検とお手入れ

△注意

機器を水につけたり、水をかけたりしない → 不完全燃焼・故障のおそれがあります。



おねがい

- 点検とお手入れはガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
(機器が冷えるまで時間がかかります。)
- 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。
- 「故障かな?と思ったら」を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店かお近くの当社にご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。
- 安全にお使いいただくために定期的に点検を受けられることをおすすめします。(有償)

点検のポイント

* 点検は常時行ってください。

- 機器のまわりに可燃物等はありませんか? ●各部品は正しくセットされていますか?
- ゴム管は正しく接続されていますか? 古くなっていますか?
- 乾電池は消耗していませんか? ●汚れていませんか? ●ガス臭くありませんか?

お手入れのしかた

* お手入れには台所用中性洗剤をお使いください。

- 機器や取りはずした部品は落とさないように気を付けてください。けがや故障の原因になります。
- お手入れの後は各部品が正しくセットされているか確認をしてください。(「設置について」参照)

おねがい

- シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。
また、印刷・塗装面にはみがき粉、たわしなどの固いものは使わないでください。表面を傷付けます。
- 汚れはそのつどお手入れしてください。そのままにしておくと、汚れが落ちにくくなり早くいたみます。

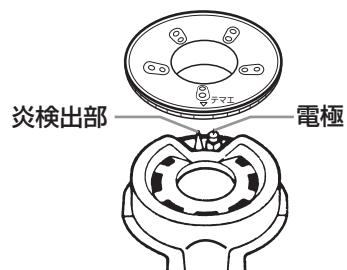
■ごとく、受け皿、グリル排気口カバー

汚れたときは台所用中性洗剤で水洗いし、水気をふき取る

■炎検出部、電極

汚れや水気が付いたときはやわらかい布でふき取る

* 汚れや水気が付いていると点火しにくくなります。



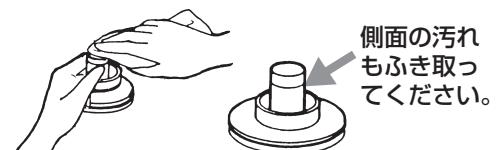
おねがい

取り付け位置を動かしたり、キズを付けないでください。
故障の原因になります。

■温度センサー

温度センサーが汚れたときは温度センサーに
片手を添えて水気を固くしぼった布で汚れをふき取る

* 汚れが付いていると温度センサーの感度が悪くなります。



点検とお手入れ

■バーナキャップ

炎が不ぞろいになったときは、あなやみぞをブラシやはり金等先の細いものなどで掃除する

*目づまりをすると点火不良や不完全燃焼の原因になります。



黒バーナキャップについて

表側の黒い部分はスポンジなどのやわらかいもので台所用中性洗剤を使用して洗ってください。万一、黒い部分がはがれてもそのままお使いになれます。

■トッププレート

汚れたときは乾いた布で汚れをふき取る

●汚れの落ちにくいときは台所用中性洗剤でお手入れし、乾いた布で水気をふき取ってください。

フッ素コートについて

- お手入れにはスポンジや布などのやわらかいものをお使いください。ナイロンたわし、金属たわし、みがき粉などの固いものは表面をキズ付けるので使わないでください。
- スポンジでもとれないしつこい汚れは乾いた布や柔らかい紙をお使いください。
- 中性洗剤以外の洗剤(レンジクリーナー、漂白剤などのアルカリ性洗剤)は使わないでください。フッ素コートをいため、シミや変色の原因になります。
- 汚れたままにしておくとシミになることがあります。
- 長期間のご使用によりフッ素コートが変色することがありますがフッ素の効果には影響ありません。

■グリル扉

汚れたときはスポンジ、布などのやわらかいもので汚れをふき取る

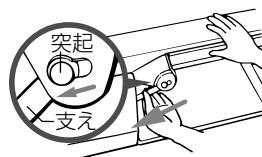
●グリル扉は取りはずしてお手入れすることもできます。

おねがい

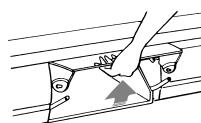
- グリル扉のガラスはみがき粉、金属たわしなどを使わないでください。ガラスが割れる原因になります。
- グリル扉や支えは変形させないようにしてください。変形するとグリル扉の閉まりや取り付けが悪くなる原因になります。

先にグリル水入れ皿を引き出しておいてください。

取りはずしかた



- ①支えを動かして突起を大きい穴に合わせ、内側にはずす
●他方も同じようにします。

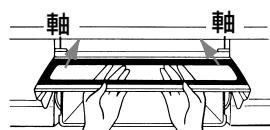


- ②グリル扉をいっぱいに開く



- ③強く引っ張る
●カンタンにはずれます。

取り付けかた



- ①2つの軸の上をすべらせるようにして
差し込む ●グリル扉が軸にはまります。 ●他方も同じようにします。



- ②支えを動かして、突起を大きい穴からはめ込む
●グリル扉が軸にはまります。 ●他方も同じようにします。

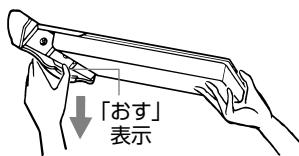
■グリル水入れ皿、グリル取っ手、焼網

お使いのたびに台所用中性洗剤で水洗いし、
水気をふき取る(「フッ素コートについて」参照)

おねがい

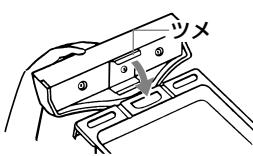
●使用直後、グリル水入れ皿を急に水で冷やさないでください。変形するおそれがあります。

取りはずしかた

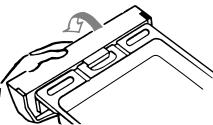


「おす」を↓の方向に押して
はずす

取り付けかた



①ツメをグリル水入れ皿に
はめ込む



②グリル取っ手をおこす

●「おす」表示の部分がはまり、
固定されます。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。下記の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。

現象	原因	処置方法
点火しない 点火しにくい 使用中に消火する	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する
	乾電池の取り付けが悪い	正しくセットする
	ゴム管の折れ曲がり・つぶれ	ゴム管の折れ曲がりを直す
	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する
	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナキャップのお手入れをする
	バーナキャップのセット不良	正しくセットする
	受け皿のセット不良	正しくセットする
	ゴム管内に空気が残っている	点火操作を繰り返す
	点火操作が不適切	操作ボタンを押す時間を長くする
	炎検出部・電極が水ぬれしたり汚れている	炎検出部・電極のお手入れをする
	アルミ箔のしる受け皿を使っている	アルミ箔のしる受け皿を使わない
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する
	温度センサーとなべ底が正しく接触していない	温度センサーとなべ底を正しく接触させる
	安全装置が作動した	安全装置が作動したときの処置方法を参照する
電池交換サインが点灯する	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する
黄色の炎で燃える 炎が安定しない 異常な音をたてて燃える	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナキャップのお手入れをする
	バーナキャップのセット不良	正しくセットする
	受け皿のセット不良	正しくセットする
ガスのいやな臭いがする	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する
	ゴム管のひび割れ・穴あき	新しいゴム管を交換する
	バーナキャップのセット不良	正しくセットする

故障ではない場合	理由
点火・消火のときに「ボッ」という音がする	点火音・消火音で、異常ではありません。
使用中「シャー」という音がする	ガスの通過音で、異常ではありません。
グリル扉がはずれた	お手入れのために、グリル扉は取りはずせるようになっています。(「点検とお手入れ」参照)

保管とアフターサービス

保管(長期間使わないとき)

- ①ガス栓を閉め、ゴム管をはずす
- ②ごみ・ほこりが入らないようにビニールやテープ等でゴム管口をふさぐ
- ③汚れを取り除く（「点検とお手入れ」参照）
- ④乾電池を取りはずす
- ⑤箱またはビニール袋等に入れて、湿気やほこりの少ないところに保管する

アフターサービスについて

■点検・修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

なお、修理のご依頼は、【電話】0120-193-860でも受付いたしますので、ご利用ください。

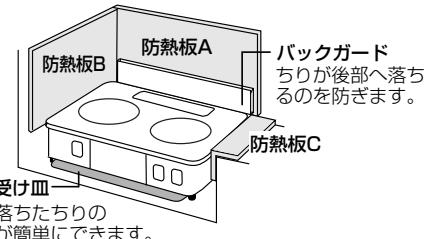
- 1.ご住所・ご氏名・電話番号
- 2.現象(できるだけ詳しく)
- 3.品名・型式名(銘板表示のもの)
- 4.ご購入日・ガス種
- 5.道順・目標

■別売部品のごあんない

次のような別売部品を用意しております。

防熱板は「設置について」を見て、取り付けかたを確認してください。詳細はお買い上げの販売店かお近くの当社までおたずねください。

取り出しフォーク
魚などが身くずれることなく簡単に取り出せます。



ちり受け皿
下に落ちたちりの
処理が簡単にできます。

■補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品は当製品製造打ち切り後、最低5年間保有しております。バーナキャップ、受け皿、ごとく等が長年のご使用でいたんだ場合にはお買い求めください。お買い求めの際は、必ず銘板の型式名をお知らせください。

■ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるとときは、お買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

■その他ご不明の点は

お買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。ご連絡には別添の「お客様ご相談窓口」をご参考ください。

仕様

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

品名	IC-E700CF-L	PA-70CFDE	IC-CF800KDH-L	IC-E701CB-L	PKS-E593C-L
器具名	—	—	IC-CF800KDH-L	IC-E701CB-L	PKS-E593C-L
型式名	IC-E700CF-L IC-E700CF-1L	PA-70CFDE PA-70CFDE-1L		E1-2-2	
種類	ガスグリル付こんろ				
点火方式	連続放電点火				
質量(本体)	9.6kg				
ガス接続	φ9.5mm ガス用ゴム管				
安全装置	立消え安全装置・調理油過熱防止装置(天ぷら油過熱防止機能)				
付属部品	乾電池単1形1.5V(2個) 保証書 取扱説明書				

都 市 ガ ス 用	ガスグループ	ガス消費量 kW			
		標準バーナ	強火力バーナ	グリル	全点火時
	12A	2.50	4.34	2.01	8.56
	13A	2.67	4.65	2.16	9.19
	L1(6B,6C,7C用)	2.50	4.07	2.15	8.26
	L2(5A,5AN,5B用)	2.03	3.55	2.15	7.09
	L3(4A,4B,4C用)	2.09	3.37	2.15	7.09
	6A	2.33	3.95	2.21	8.14
	5C	2.56	3.95	2.09	8.14
	LPガス用	2.46	4.34	2.17	8.70

外形寸法 (単位: mm)

